

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
 【**単独**・連携事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	壬生町農産物ブランド「みぶの妖精」推進事業	総事業費	1,252,486					1,252,486
		うち市町支出額	500,000					500,000
		うち県交付金	250,000					250,000
2	健康長寿のまちづくり推進事業	総事業費	300,079					300,079
		うち市町支出額	300,000					300,000
		うち県交付金	150,000					150,000
3	花のまちづくり推進事業	総事業費	570,196					570,196
		うち市町支出額	570,000					570,000
		うち県交付金	285,000					285,000
4	壬生町産業交流活性化事業	総事業費	652,000					652,000
		うち市町支出額	400,000					400,000
		うち県交付金	200,000					200,000
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	2,774,761	0	0	0	0	2,774,761
		うち市町支出額	1,770,000	0	0	0	0	1,770,000
		うち県交付金	885,000	0	0	0	0	885,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町農産物ブランド『みぶの妖精』推進事業
事業主体の名称	壬生町農産物マーケティング推進協議会
代表者の名称	壬生町農産物マーケティング推進協議会会長 佐藤 久一
事業主体の所在	壬生町大字福和田1001番地9
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:消費者ニーズの多様化や市場の販売形態等の変革に的確に対応し、農産物生産組織の連携強化を図り、みぶの妖精ブランド農産物の消費拡大と販売戦略の方法等を模索し実践する。 ・設立年月日:平成18年4月21日 ・構成員等:JALもつげ壬生地区営農経済センター、生産組織の代表者、町
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>既存の「みぶの妖精」ブランド農産物(苺・トマト・ニラ)については、認知度も徐々に高まり、市場等での地位も確立しつつあるが、まだ向上する余地がある。また、平成25年度から町の新しい特産物としてPRを始めた“壬生菜”についても、各種イベントでのPRや和食の料理店で使ってもらえるよう働きかけてきたが、まだ浸透が十分ではない。</p> <p>PR方法や対象者などが限定されてしまっていることなども考えられるため、今後は、これまでの手法等を見直しながら、町外へは県外への販促の拡大も見据え、効果の高いPRを検討・実施していく必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○苺・トマト・ニラ、そしてみぶ菜といった「みぶの妖精」ブランド農産物を積極的にPRし、認知度を高める。 ○「みぶの妖精」ブランド農産物を町の特産品と位置づけ、新たな壬生町の魅力を掘り起し、さらなる地域づくり及び経済の活性化につなげることを目的とする。 ○地元農産物のさらなる品質の向上を目指す。
事業概要	<p>①情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のブランド農産物や壬生菜の知名度を向上させるため、“産業まつり”や“みぶの日”等の町内のイベントで、来場者への壬生菜の無料配布等を行い、町内への「みぶの妖精」ブランドの浸透定着を図った。 ・県庁で実施する「食と農ふれあいフェア」等、町外のイベントにおいて、「みぶの妖精」ブランドや「みぶ菜の日(3月27日)」のPR活動を行い、町外への販路の拡大を図る。 <p>②販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「壬生菜」の市場出荷を試行している。(出荷用ダンボール作成、配送料負担) ・とちぎ農産物マーケティング協会が主催した食材提案会に参加し、メトロポリタンホテル(池袋)栃木フェアで「壬生菜」を使用してもらっている。 ・27年度の栃木フェアで「壬生菜」を使用したパレスホテル大宮で、引き続き「壬生菜」を使用してもらっている。 <p>③情報交換(研究・開発)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体と連携し、地元食材を使った新たなレシピを開発した。 ・“壬生菜”のさらなる生産振興のため、毎月、生産者、JA及び下都賀農業振興事務所と栽培に関する課題や要望等についての情報交換会を行っている。 <p>④視察研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷組合、トマト部会及びニラ部会のそれぞれのメンバーが、町内外における販路拡大、さらなる農産物の品質向上を図るため、現地での消費者ニーズを把握したり、生産・栽培に係る様々な情報を得ることを目的に、京浜市場、榊宮果、仙台市場及び各
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町における安定した雇用を創出する 戦略プロジェクト:農商工業連携による町の活性化 KPI:地域ブランド品目認定数 10件 ⇒ 20件</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①情報発信 ②販売促進 ③情報交換 ④視察研修				
事業費	1,252,486			1,252,486	
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000			500,000	
うち県交付金	250,000			250,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	752,486	0	0	752,486	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課農業振興係
担当者名	中川 和典
電話	0282-81-1839
FAX	0282-82-1107
E-mail	nousei@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	花のまちづくり推進事業
事業主体の名称	壬生花の街づくりの会、安塚駅前広場「花愛好会」、花のまちづくり にじの会、チームOW
代表者の名称	駒場 清子 ほか3名
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町本丸二丁目11-17 ほか3箇所
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:コミュニティの中心となる公共公益空間を緑化し、地域住民に緑化活動の輪を広げる。また、緑化の場を、地域コミュニティ全体に広げ、花と緑にあふれた町とする。 ・設立年月日: H24.4.1(壬生花の街づくりの会)H25.4.1(安塚駅前広場「花愛好会」)H26.4.1(花のまちづくり にじの会)H27.4.1(チームOW) ・構成員等: 緑化活動に意欲的な住民有志
当該事業に係る地域の現状と課題	平成23年度～平成26年度に壬生町が実施した「花のまちづくりボランティア講座」の修了生により花のまちづくりボランティア団体を結成し、「花と緑があふれる町、壬生」を目指し花壇の維持管理を行っている。しかし、団体のメンバーは高齢化が進んでいるため、将来的に花壇を維持できるか、「花と緑があふれる町、壬生」を発展させることができるか不安がある。そのため、いかに若い世代の新メンバーを獲得し、将来的に花壇を管理、発展させていけるかが課題となっている。
事業目的	<p>「花と緑があふれる町、壬生」をつくる 「花と緑があふれる町、壬生」を発展する体制をつくる</p>
事業概要	<p>役場前やみらい館、駅前広場などが集まる場所において、グループ間で連携を取りながら緑化活動を行い、「花と緑があふれる町、壬生」を目指した。また、成人式やクリスマス等のイベントにおいて、花やイルミネーションによる飾りつけを提供することによって若い世代の関心を引き、後継者の発掘・育成につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壬生花の街づくりの会: 自成館・JA花壇・みらい館の花弁植替え(4月、6月、9月、11月)、成人式会場花弁植え(1月)、除草・灌水作業(随時) ・安塚駅前広場「花愛好会」: 安塚駅西口広場花弁植替え(5月、9月、10月)、除草・灌水作業(随時) ・花のまちづくり にじの会: おもちゃのまち駅東口広場花弁植替え(5月、9月、11月)、除草・灌水作業(随時) ・チームOW: おもちゃのまち駅西口広場花弁植替え(5月、11月)、クリスマスイルミネーション飾りつけ(12月)、除草・灌水作業(随時) <p>【平成29年度】28年度の反省点等を踏まえ、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 壬生町への新しい人の流れをつくる 戦略プロジェクト: 郷土愛の醸成によるUターン推進 KPI: 中学生等地域活動参加人数 365人 ⇒ 400人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度		支援期間の 事業費計	
事業内容	・植栽帯等の整備及び 維持管理			
事業費	570,196		570,196	
市町支出金 (ソフト事業分)	570,000		570,000	
うち県交付金	285,000		285,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	196	0	196	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	建設部都市計画課公園緑地課係
担当者名	矢川 己三男
電話	0282-86-7117
FAX	0282-25-7474
E-mail	toshikei@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	健康長寿のまちづくり推進事業
事業主体の名称	健康長寿のまちづくり推進協議会
代表者の名称	倉井 利一
事業主体の所在	〒321-0292 下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 行政と地区組織が協働して、壬生町の健康寿命の延伸を目指します ・設立年月日: 平成27年4月 ・構成員等: ○みぶまち・獨協健康大学修生の会 ○壬生町保健委員会 ○食生活改善推進員 ○行政(健康増進係・地域包括支援センター)
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>当町の健康寿命は全国的にも低く、介護保険事業費や医療費の増大が危惧されていることから、昨年度、当事業において、食生活に関するアンケートをはじめ、町民の塩分摂取に関する調査を実施し、1,000人以上の町民から回答があり、壬生町の健康課題が明らかになった。これらを踏まえ、引き続き、町民自らが自身の健康について考え、実践することのできる環境づくりを進めていく必要がある。</p>
事業目的	<p>町民一人ひとりが自分の生活習慣を見直し、病気の予防について実践し、健康で自立した生活を送れるようになることで町の活力維持を図るとともに、将来的に「健康長寿のまち」として、町の魅力向上並びに移住定住の促進につなげることを目的とする。</p>
事業概要	<p>〔平成28年度〕 【健康リーダー育成事業】 ①健康大学の修生が町民を対象に健康づくりや介護予防に関する講演会2回(10月・12月)実施 ②みぶの日に於いてラジオ体操の啓発を行う ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ・平成28年4月ウォーキングボランティア協力によるウォーキング大会を実施。(参加者80名) ・平成27年度に実施した調査研究の結果により、壬生町民の塩分摂取の傾向と課題が明らかになった。 その課題に基づいて食生活改善推進員等による減塩の啓発活動を実施(年10回) ・地域包括支援センターと共同で、自治会を対象にしたモデル事業としてラジオ体操の推進と健康づくり事業を定期開催した(年5回) ・ウォーキング大会の開催(平成29年3月5日) 【獨協医科大学との共同研究事業】 ④健康寿命延伸についての会議の開催(平成28年12月13日) 〔平成29年度〕 ・前年度の反省点等を踏まえ、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 壬生町で安心して元気に暮らす 戦略プロジェクト: 健康長寿のまちづくり KPI: 特定健康診査受診率 25.6% ⇒ 35.0%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度		支援期間の事業費計	
	事業費			
事業内容	①健康大学の修生が町民を対象に健康づくり、介護予防に関する講演会を企画、実施する ②地域におけるラジオ体操の推進・イベントにおける啓発 ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ④健康寿命延伸についての会議の開催			
事業費	300,079		300,079	
市町支出金(ソフト事業分)	300,000		300,000	
うち県交付金	150,000		150,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	79	0	79	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康福祉課
担当者名	臼井 優子
電話	0282-81-1885
FAX	0282-81-1121
E-mail	y-usui01@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町産業交流活性化事業
事業主体の名称	壬生町産業交流活性化事業実行委員会
代表者の名称	壬生町産業交流活性化事業実行委員会 会長 櫻井康雄
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 壬生町内の事業者や関係機関が緊密な連携を図り、セミナーや交流会を実施することにより地域産業の発展を目指す ・設立年月日: 平成28年11月29日 ・構成員等: 壬生町、壬生町商工会、壬生町法人会、壬生町金融団、JALもつけ
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町は東武宇都宮線の4つの駅を中心に市街地が形成され、それぞれに商業地域が存在すると共に、4つの工業団地を柱とした製造業等の企業が操業しておりますが、各種種間の交流の機会が不足しているのが現状です。農業でいう“地産地消”の考え方が、商工業分野においても浸透することが望まれており、ここに農業分野を加えた、商工農業種間での原材料や物品の調達、消費が町内で完結できる仕組み作りが課題となっています。</p> <p>このようなことから、町内の産業が競争力を持ち、成長を持続していくため、事業者間、他産業との連携を図っていく必要があります。</p>
事業目的	<p>本町の企業等の事業経営に関するスキルアップを図ると共に、ビジネスチャンスの創出を図り、産業の発展につなげることを目的とします。本事業は異業種間の交流・連携を深め、共存共栄体制構築の一助とするものです。</p>
事業概要	<p>実施期日: 平成29年2月23日(木) 10:00~13:00 会場: 壬生町城址公園(壬生町中央公民館) 研修室及び中ホール 対象者: 町内商工業者、金融機関、農業関係者、医療機関関係者、学校関係者、町議会議員、商工会役員等 事業内容: 以下のとおり。なお、参加料として、1人1,000円を徴収した。</p> <p>①ビジネスセミナー(講演会)の実施 ・事業創造大学院大学の伊藤聡子氏を講師に迎え、「地域経済の活性化が日本の経済を取り戻す」を演題とし、講演会を実施した。参加者は72名であった。</p> <p>②経営者交流会の実施 ・上記セミナー終了後、立食形式による交流会を開催した。町内の幅広い業種の方、合計78名が参加し、異業種間での交流を図った。また、交流会時に参加企業2社による、企業PR(会社概要や取り組み)が、ビデオ放映やパワーポイントにより行われた。</p> <p>③参加企業等のPRコーナー設置 ・上記交流会会場において、参加企業8社による事業PR(展示、パンフ配布など)が実施した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 壬生町における安定した雇用を創出する 戦略プロジェクト: 産業の振興と雇用の創出 KPI: 産業振興奨励金交付企業数 5社→15社</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度		支援期間の事業費計	
事業内容	①ビジネスセミナー ②経営者交流会 ③企業PRコーナー設置			
事業費	652,000		652,000	
市町支出金(ソフト事業分)	400,000		400,000	
うち県交付金	200,000		200,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	252,000	0	252,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 工業係
担当者名	植木 克彦
電話	0282-81-1845
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp